デジタルカメラ

SP-500 UZ

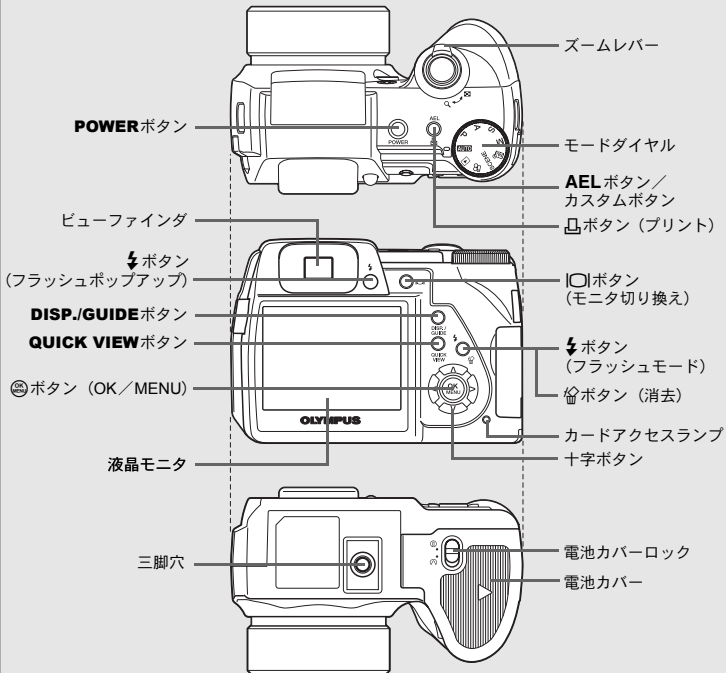
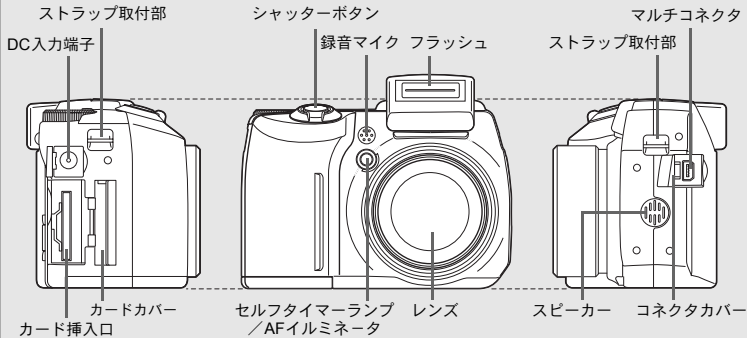
取扱説明書

基本編

もくじ

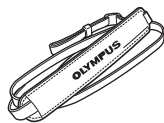
- オリンパス デジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。製品をご使用になる前に、カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。また、お読みになったあとは、必ず保管してください。
- 海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

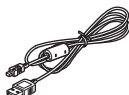
各部の名前

ストラップ取付部
DC入力端子
シャッターボタン
録音マイク
フラッシュ
マルチコネクタ
ストラップ取付部
カードカバー
カード挿入口
セルフタイマーランプ
／AFイルミネータ
レンズ
スピーカー
コネクタカバー
ズームレバー
POWERボタン
モードダイヤル
AELボタン／
カスタムボタン
ボタン（プリント）
ビューファインダ
ボタン
（フラッシュポップアップ）
DISP./GUIDEボタン
QUICK VIEWボタン
ボタン（OK／MENU）
液晶モニタ
ボタン
（モニタ切り換え）
ボタン
（フラッシュモード）
ボタン（消去）
カードアクセスランプ
十字ボタン
三脚穴
電池カバーロック
電池カバー
OLYMPUS

ご使用の前に

箱の中身を確認する

デジタルカメラ

レンズキャップ／
レンズキャップ用ひも

ストラップ

単3形アルカリ電池
（4本）

USBケーブル

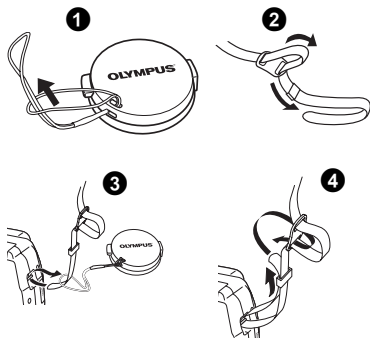
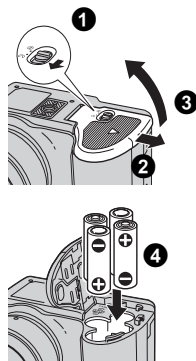
AVケーブル

OLYMPUS Master
CD-ROM

その他の付属品

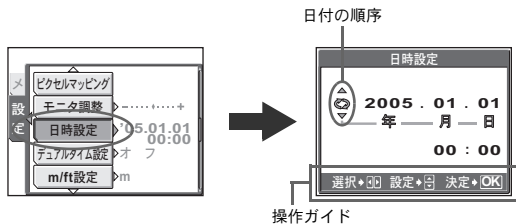
- 取扱説明書 基本編（本書）
- 取扱説明書 応用編
- 保証書

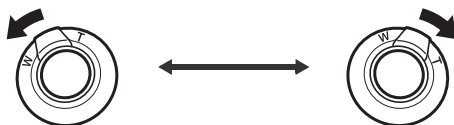
1 準備する

a. ストラップとレンズキャップを取り付ける

b. 電池を入れる

c. 日時を設定する

❶ モードダイヤルを AUTO に合わせ**POWER**ボタンを押して電源を入れます。

❷ OK/MENUを押してトップメニューを表示し、[モードメニュー］▶［設定］タブ▶［日時設定］の順に選択します。

❸ 操作ガイドにしたがって、日付の順序、年、月、日、時、分を設定します。

2 撮影する

a. 構図を決める

b. ピントを合わせる

❶ AF ターゲットマークを被写体に合わせます。

❷ シャッターボタンを軽く押します。

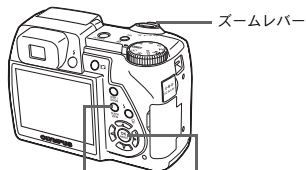
- ピントと露出が固定されると、緑ランプが点灯します。

c. 撮る

❶ シャッターボタンを押し込みます。

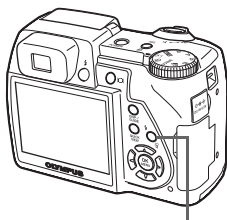
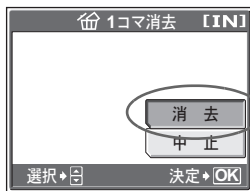
3 再生する／削除する

a. QUICK VIEW ボタンを押す

- 最後に撮影した画像が表示されます。

b. クローズアップ再生する

- T側に回すと10倍まで拡大（クローズアップ再生）され、W側に回すと縮小されます。
- OK/MENU を押すと元に戻ります。
- クローズアップ再生中に十字ボタンを押すと、その方向に画像がスクロールします。

もう一度**QUICK VIEW**ボタンを押すと撮影モードに戻ります。

c. 画像を削除する

1. 削除する画像を表示します。
2. 🗑ボタンを押します。
3. ［消去］を選択してOK/MENUを押します。
   - 画像が消去されます。

4 撮った画像をパソコンで楽しむ

a. OLYMPUS Master をインストールする

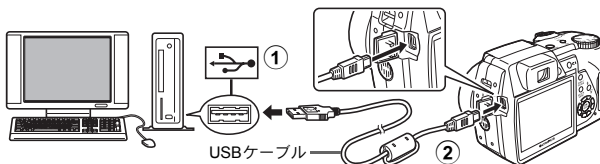
❶ CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を入れます。

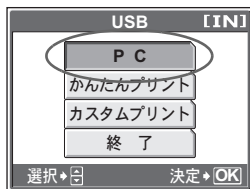
❷ **Windows:**「OLYMPUS Master」ボタンをクリックします。
Macintosh:「インストーラ」アイコンをダブルクリックします。

❸ 画面のメッセージに沿って操作を行ってください。

b. カメラをパソコンに接続する

❶ USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。

● カメラの液晶モニタが自動的に点灯します。

❷［PC］を選択し、OK/MENU を押します。

● パソコンがカメラを新しい機器として認識します。

c. カメラの画像をパソコンに保存する

❶ カメラが接続されると OLYMPUS Masterが起動して、［取り込み］画面が表示されます。

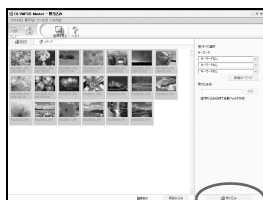
❷ パソコンに保存する画像を選択して［取り込み］ボタンをクリックします。

［取り込み］画面

［取り込み］ボタン

［取り込み］画面が表示されない場合

❶ OLYMPUS Masterのメインメニューで［画像を取り込む］ボタンをクリックします。

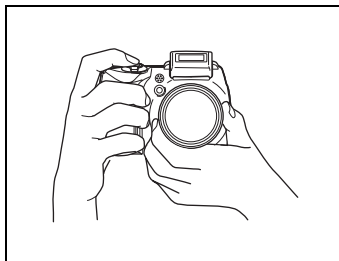
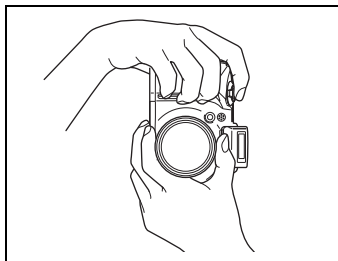
❷ ［カメラから］ボタンをクリックします。

ヒント

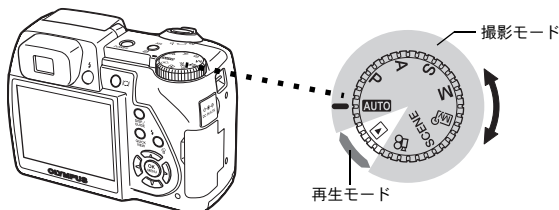
- このカメラのすべての機能や操作方法については、「取扱説明書 応用編」をご覧ください。
- OLYMPUS Masterの上記以外の機能や操作方法については、OLYMPUS Masterの「ヘルプ」および取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。

カメラの基本操作

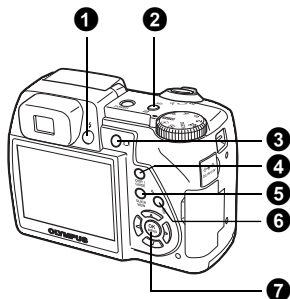
カメラの正しい構え方

撮影した画像を見ると、被写体の輪郭がはっきりしないときがあります。このようなときはシャッターボタンを押し込んだ瞬間にカメラを持つ手がぶれたり、カメラが動いていることがあります。
このような失敗を防ぐために、カメラは脇を締めて両手でしっかり持ちましょう。カメラを縦位置で持つときは、フラッシュがレンズの中心より上になるように持ちます。レンズとフラッシュに指やストラップがかからないよう、ご注意ください。

横位置

縦位置

モードダイヤル

目的のモードに合わせて電源を入れてください。電源を入れた後で、モードダイヤルを変えることもできます。

撮影モード	AUTO	フルオートで撮影します。
	P	最適な絞り値とシャッター速度をカメラが自動的に決めます。
	A	絞り値を自分で設定し、撮影します。
	S	シャッター速度を自分で設定し、撮影します。
	M	絞り値とシャッター速度を自分で設定します。
	My	撮影の各種機能を設定し、オリジナルの撮影モードとして使います。
	SCENE	撮影状況に合わせた21種類の撮影シーンから選択します。
		ムービーを撮影します。
再生モード	▶	静止画またはムービーを再生します。音声も再生できます。

撮影モードで使うボタン

撮影モードでよく使う機能は、次のボタンで簡単に設定できます。

❶ **ボタン（フラッシュポップアップ）**
フラッシュが起き上がります。フラッシュが閉じたままだと発光しません。

❷ **AELボタン（AEロック／カスタム）**
露出を固定します。押すたびにロックと解除を繰り返します。
カスタムボタンとして機能を登録して使うこともできます。

❸ **ボタン（モニタ切り換え）**
液晶モニタとビューファインダを切り換えます。

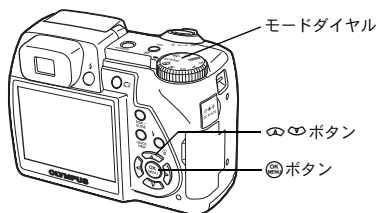
❹ **DISP./GUIDEボタン**
繰り返し押して、撮影情報や構図線、ヒストグラムの表示を切り換えます。
メニューを選択した状態で押すと、そのメニュー機能の説明が表示されます。

❺ **QUICK VIEWボタン**
最後に撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

❻ **ボタン（フラッシュモード）**
撮影状況や目的に合わせてフラッシュの設定をオート発光／赤目軽減／強制発光／赤目・強制発光／発光禁止から選びます。

❼ **ボタン（OK／MENU）**
トップメニューを表示します。メニューの設定時にはを押して設定内容を決定します。

SCENEモード

❶ モードダイヤルを SCENE に合わせます。

❷ を押してシーンを選択し、を押します。

SCENEの種類

- ポートレート
- 風景
- 風景＆人物
- 夜景
- スポーツ
- 夜景＆人物
- 屋内撮影
- キャンドル
- 自分撮り
- 寝顔
- 夕日
- 打ち上げ花火
- マナーショット
- ガラス越し
- 料理
- 文書
- オークション
- ショット&セレクト1
- ショット&セレクト2
- ビーチ
- スノー

フラッシュモード

❶ ⚡ボタン（フラッシュポップアップ）を押して、フラッシュを起こします。

❷ ⚡ボタン（フラッシュモード）を繰り返し押して、フラッシュモードを設定します。

- 何も操作しないで約2秒経過すると、設定が確定し、モード選択表示は自動的に消えます。

❸ シャッターボタンを半押しします。

- フラッシュが発光する条件のときは、⚡マークが点灯します（フラッシュ発光予告）。

❹ シャッターボタンを全押しして、撮影します。

フラッシュの到達距離

広角時：約0.3～4.5m

望遠時：約0.3～3.4m

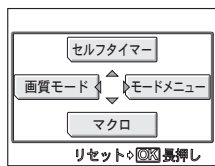
フラッシュモード	説明
（表示なし）オート発光	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
👁赤目軽減	本発光の前に数回の予備発光を行い、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。
⚡強制発光	フラッシュを必ず発光させます。
👁⚡赤目•強制発光	赤目軽減の予備発光後、フラッシュを必ず発光させます。
⊘発光禁止	暗いところでも発光させたくないときに使用します。

カメラが動作を停止したときは

- 電源を入れたまま約3分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐためにスリープモード（待機状態）になり、カメラは動作を停止します。ズームレバーやシャッターボタンなどを操作するとカメラはすぐに動作を再開します。
- スリープモードに入ってから約4時間後には自動的にレンズが収納され、電源が切れます。もう一度電源を入れ直してください。

メニューと表示

トップメニュー

❶ OK/MENUを押すと、トップメニューが表示されます。
❷ 十字ボタンを使って選択、設定します。

撮影モードのトップメニュー

■ **セルフタイマー**
セルフタイマーを使って撮影します。シャッターボタンを押して12秒後に撮影されます。

■ **画質モード**
撮影する画像の画質を用途に合わせて設定します。

■ **マクロ**
近接した被写体を撮影するときに設定します。

■ **モードメニュー**
日時設定や言語選択、フォーマット、全コマ消去などの設定を行うことができます。

すべての画像を消去する

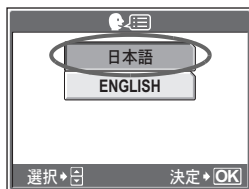
❶ 再生モードのトップメニューから［モードメニュー］▶［メモリ（カード）］タブ▶［全コマ消去］の順に選択します。

❷ ［消去］を選択し、OK/MENUを押します。
- すべての画像が消去されます。

使用する言語を選択する

液晶モニタのメニュー表示やエラーメッセージを日本語でなく、他の言語にすることができます。

❶ トップメニューから［モードメニュー］▶［設定］タブ▶［言語アイコン］の順に選択します。

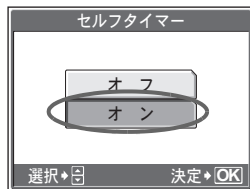
❷ 表示したい言語を選択し、OK/MENUを押します。

マクロ撮影

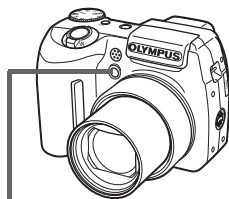
マクロ　被写体に7cmまで接近して撮影できます（光学ズームをもっとも広角にした場合）。

スーパーマクロ　被写体に約3cmまで接近して撮影できます。

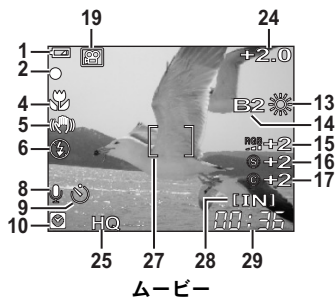
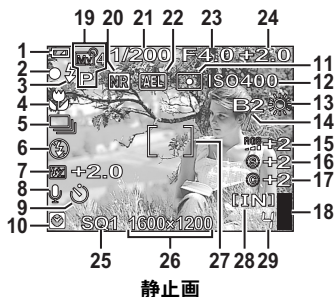
❶ 撮影モードのトップメニューから［マクロ］▶［マクロ］または［スーパーマクロ］選択し、を押します。

セルフタイマー撮影

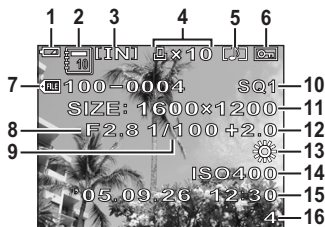
❶ 撮影モードのトップメニューから［セルフタイマー］▶［オン］を選択し、を押します。

❷ シャッターボタンを全押しして、撮影します。

- セルフタイマーランプが約10秒間点灯し、さらに約2秒間点滅した後、シャッターが切れます。

セルフタイマーランプ

液晶モニタの表示

●撮影モード

	項目	表示例
1	電池残量	（撮影可）、（充電してください）
2	緑ランプ	○（ピント固定：フォーカスロック）
3	フラッシュ発光予告 手ぶれ警告 フラッシュ充電	点灯 点滅
4	マクロ スーパーマクロ マニュアルフォーカス	 S MF
5	ドライブ 手ぶれ補正	、、HI、AF、BKT
6	フラッシュモード	、、、など
7	フラッシュ補正	-2.0～+2.0
8	録音	
9	セルフタイマー	
10	デュアルタイム	
11	測光	、
12	ISO感度	ISO 80～ISO 400
13	ホワイトバランス	、、、、1～3、
14	WB補正	B1～B7、R1～R2
15	彩度	RGB -5～+5
16	シャープネス	-5～+5
17	コントラスト	-5～+5
18	メモリゲージ	、、、（撮影できません）
19	撮影モード	AUTO、P、A、S、M、My1～My4、など
20	ノイズリダクション	NR
21	シャッター速度	15"～1/1000、BULB
22	AEロック AEメモリ	AEL MEMO

	項目	表示例
23	絞り値	F2.8〜F8.0
24	露出補正	-2.0〜+2.0
25	画質モード	RAW、SHQ、HQ、SQ1、SQ2
26	画像サイズ	2816 × 2112、1600 × 1200、640 × 480 など
27	AFターゲットマーク	[ ]
28	使用メモリ	[IN]（内蔵メモリ）、[xD]（カード）
29	撮影可能枚数 撮影可能時間	4 00:36

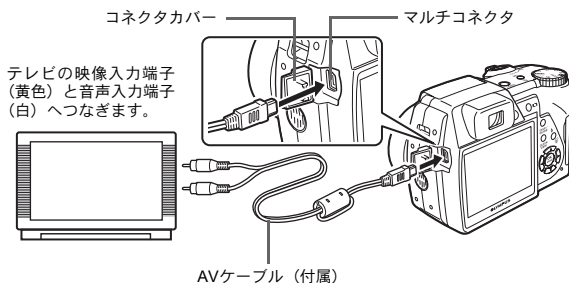
●再生モード

静止画　　ムービー

	項目	表示例
1	電池残量	（再生可）、（充電してください）
2	アルバム	
3	使用メモリ	[IN]（内蔵メモリ）、[xD]（カード）
4	プリント予約・枚数 ムービー	×10
5	録音	
6	プロテクト	
7	ファイル番号	FILE 100-0004
8	絞り値	F2.8〜F8.0
9	シャッター速度	15"〜1/1000
10	画質モード	RAW、SHQ、HQ、SQ1、SQ2
11	画像サイズ	2816 × 2112、1600 × 1200、640 × 480など
12	露出補正	-2.0〜+2.0
13	ホワイトバランス	WB AUTO、、、、、1〜3、
14	ISO感度	ISO 80〜ISO 400
15	日時	'05.09.26　12:30
16	コマ番号 再生時間／録画時間	4 00:00／00:36

カメラと接続する

テレビで再生する

付属のAVケーブルでテレビに接続して画像を再生します。静止画とムービーの両方の再生ができます。

❶ カメラとテレビの電源を切り、付属のAVケーブルでカメラのマルチコネクタとテレビのビデオ入力端子を接続します。

❷ テレビの電源を入れてビデオ入力に設定します。

- ビデオ入力の設定方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

❸ モードダイヤルを▶に合わせ**POWER**ボタンを押して、カメラの電源を入れます。

- 最後に撮影した画像がテレビに表示されます。表示する画像を選択するには、十字ボタンを押します。

インデックス再生

カメラの液晶モニタやテレビで画像を再生中に、複数の画像を一覧表示（インデックス再生）します。

❶ ズームレバーをW側に回します。

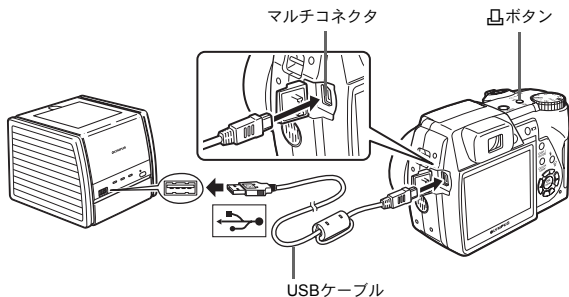
- 十字ボタンで再生する画像を選択して OK/MENU を押すと、その画像が1コマ再生されます。
- ズームレバーを回して、インデックス分割数を 4 分割、 9 分割、16分割、25分割に変更することができます。

インデックス再生

ダイレクトプリント（PictBridge）

付属のUSBケーブルで、カメラをOLYMPUS P-11などのPictBridge対応プリンタに接続します。簡単な操作で画像を1枚プリントします。

❶ 再生モードで、プリントしたい画像を表示します。

❷ プリンタの電源を入れてカメラに付属のUSBケーブルでカメラのマルチコネクタとプリンタのUSBポートを接続します。

❸ ボタンを押します。

- プリントが開始されます。
- 終了するときは、画像選択の画面が表示された状態でカメラからUSBケーブルを抜きます。

OLYMPUS Masterについて

OLYMPUS Masterは、デジタルカメラで撮影した画像を編集／管理するためのソフトウェアです。簡単な操作で、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンでお楽しみいただけます。
OLYMPUS Masterのさまざまな機能や使い方については、OLYMPUS Masterをインストールして「ヘルプ」または取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。

●動作環境について

OS	Windows 98SE/Me/2000 Professional/XPまたはMac OS X（10.2以降）
CPU	Pentium III 500MHz以上またはPower PC G3 500MHz以上
RAM	128MB以上（256MB以上を推奨）
ハードディスク容量	300MB以上
コネクタ	USBポート
モニタ	1024 × 768ドット以上、65,536色以上（Windows）、32,000色以上（Macintosh）

新たにリリースされるOSへの対応などについては、オリンパスホームページ（http://www.olympus.co.jp）でご確認ください。

●OLYMPUS Master Plusアップグレードのご案内

「OLYMPUS Maser」のメインメニューの「アップグレード」ボタンからOLYMPUS Master Plusをご購入いただくことができます。ご購入には、OLYMPUS Masterをインストールしたパソコンでインターネットに接続できる環境が必要です。

ユーザー登録をしましょう

OLYMPUS Masterをインストールしたら、カメラのユーザー登録をしましょう。ユーザー登録すると、オリンパスよりソフトやファームウェアのアップデートのお知らせが届きます。

仕様

形式 ： デジタルカメラ（記録・再生型）
記録方式
　静止画 ： デジタル記録、JPEG（DCF準拠）、RAWデータ
　対応規格 ： Exif 2.2、DPOF、PRINT Image Matching III 、PictBridge
　静止画音声 ： Waveフォーマット準拠
　動画 ： QuickTime Motion JPEGに準拠
記録媒体 ： 内蔵メモリ
xD-ピクチャーカード（16MB～1GB）

記録コマ数（内蔵メモリ使用時）

静止画（音声なし）

画質モード	画像サイズ		撮影可能枚（枚）
RAW	2816 × 2112		1
SHQ	2816 × 2112		2
	3:2 2816 × 1880		2
HQ	2816 × 2112		7
	3:2 2816 × 1880		8
SQ1	2592 × 1944	高画質	2
		標準	8
	2288 × 1712	高画質	3
		標準	10
	2048 × 1536	高画質	4
		標準	13
	1600 × 1200	高画質	7
		標準	21
SQ2	1280 × 960	高画質	11
		標準	32
	1024 × 768	高画質	17
		標準	50
	640 × 480	高画質	43
		標準	109

ムービー（音声なし）

画質モード	画像サイズ	撮影可能時間（秒）
HQ	320 × 240（30コマ／秒）	15
SQ	320 × 240（15コマ／秒）	31

カメラ部有効画素数 ： 600万画素
画像素子 ： 1/2.5型CCD（原色フィルター）
レンズ ： オリンパスレンズ6.3～63mm、F2.8～3.7
（35mmフィルム換算38～380mm相当）
測光方式 ： 撮像素子によるデジタルESP測光方式、スポット測光、中央重点測光
シャッター ： 15～1/1000秒（バルブ時：最長8分）

絞り	：	F2.8～F8.0
撮影範囲	：	0.07m～∞（W）1.2～∞（T）（通常・マクロ時） 0.03m～∞（スーパーマクロ時）
液晶モニタ	：	2.5型（インチ）TFTカラー液晶、115,000画素
コネクタ	：	DC入力端子 USB端子／AV出力端子（マルチコネクタ）
自動カレンダー機能	：	2000～2099年の範囲で自動修正
使用環境		
温度	：	0～40℃（動作時）／-20～60℃（保存時）
湿度	：	30～90％（動作時）／10～90％（保存時）
電源	：	単3形アルカリ電池／ニッケル水素電池4本 または専用ACアダプタ
大きさ	：	幅105.5mm × 高さ74.5mm × 厚さ71.0mm （突起部を除く）
質量	：	285 g（電池／カード別）

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品の取り扱いについて

⚠ 警告

● **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない**
引火・爆発の原因となります。

● **フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない**

● **カメラで日光や強い光を見ない**
視力障害をきたすおそれがあります。

● **幼児、子供の手の届く場所に放置しない**
以下のような事故が発生するおそれがあります。
- 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
- 電池などの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
- カメラの動作部でけがをする。

● **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない**
火災・感電の原因となります。

● **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない**

● **連続発光後、発光部分に手を触れない**
やけどのおそれがあります。

● **分解や改造をしない**
感電・けがをするおそれがあります。

● **内部に水や異物を入れない**
火災・感電の原因となります。
万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

● **通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない**
充電中の充電器や電池は、温度が高くなります。また別売のACアダプタを長時間ご使用の場合にも、本体の温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

● **専用の当社製充電式電池と充電器以外は使用しない**
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。

⚠ 注意

● **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する**
火災・やけどの原因となることがあります。
やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください。
（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。）

● **濡れた手でカメラを操作しない**
故障・感電の原因となることがあります。また、ACアダプタの抜き差しは、濡れた手では絶対しないでください。

● **カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する**
けがや事故の原因となることがあります。

● **高温になるところに放置しない**
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

● **専用のACアダプタ以外は使用しない**
カメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用以外のACアダプタの使用により生じた傷害は補償しかねますので、あらかじめご了承ください。

● **ACアダプタのコードを傷つけない**
ACアダプタのコードを引っ張ったり、継ぎ足したりは絶対にしないでください。必ず電源プラグを持って、抜き差しを行ってください。
以下の場合はただちに使用を中止し、販売店、当社修理センターまたはサービスステーションにご相談ください。
- 電源プラグのコードが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
- ACアダプタのコードに傷、断線、または電源プラグに接触不良がある。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

● **火の中に投下したり、加熱しない**
発火・破裂・火災の原因となります。

● **（+）（−）端子を金属類で接続しない**

● **電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない**
ショート、発熱し、やけど・けがの原因となります。

● **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しない**
液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。

● **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない**
端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。

● **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない**
火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。

● **電池の液が目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**

⚠ 警告

● **水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない**

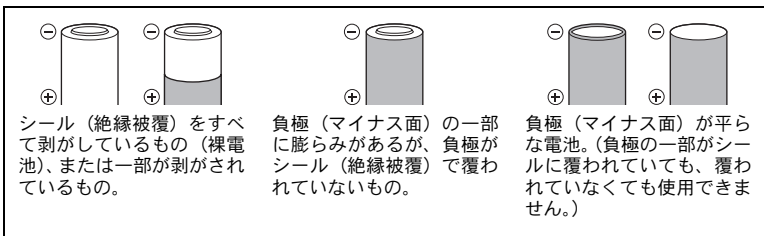
● **濡れた手で触ったり持ったりしない**
感電・故障の原因となります。

● **以下の内容を守らない場合、電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、火災やけがのおそれがあります。**
- このカメラで指定されていない電池を使わないでください。
- 古い電池と新しい電池、充電した電池と放電した電池、また、容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
- 充電できないアルカリ電池やリチウム電池などを充電しないでください。
- ＋－を逆にして装着・使用しないでください。また、機器にうまく入らない場合は無理に接続しないでください。
- 外装シール（絶縁被覆）を一部またはすべて剥がしている電池や、破れている電池をご使用になりますと、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になりますので、絶対にご使用にならないでください。
- 市販されている電池の中にも、外装シール（絶縁被覆）の一部またはすべてが剥がれている電池があります。このような電池は、絶対にご使用にならないでください。

● **このような形状の電池はご使用になれません**

シール（絶縁被覆）をすべて剥がしているもの（裸電池）、または一部が剥がされているもの。

負極（マイナス面）の一部に膨らみがあるが、負極がシール（絶縁被覆）で覆われていないもの。

負極（マイナス面）が平らな電池。（負極の一部がシールに覆われていても、覆われていなくても使用できません。）

● **充電式電池が所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する**
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。

● **外装にキズや破損のある電池は使用しない**
破裂・発熱の原因となります。

● **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない**
破裂・液漏れの原因となります。

●**カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない**
●**液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は、使用を中止する**
火災・感電の原因となります。
販売店または当社サービスステーションにご相談ください。
●**電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**

⚠ 注意

●**電池を使ってカメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さない**
やけどの原因となることがあります。
●**長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておく**
液漏れ・発熱により、火災・けがの原因となることがあります。
●**マンガン電池は使用しない**
電池寿命が短いばかりでなく､電池の発熱などにより本体に損害をもたらすおそれがあります。

充電器についてのご注意

⚠ 危険

●**充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない**
故障・感電の原因となります。
●**充電器を布などで覆った状態で使用しない**
熱がこもってケースが変形したり、火災・発火・発熱の原因となります。
●**充電器を分解・改造しない**
感電・けがの原因となります。
●**充電器は指定の電源電圧で使用する**
指定以外の電源電圧を使用すると、火災・破裂・発煙・発熱・感電・やけどの原因となります。

⚠ 警告

●**充電器のコードは傷つけたり、引っ張ったり、継ぎ足したりしない**
火災・感電の原因となることがあります。
コンセントからの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。
以下の場合はすぐに使用を中止し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
- 電源プラグやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出た場合
- 充電器のコードに傷、断線、または電源プラグに接触不良があった場合

⚠ 注意

●**お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う**
電源プラグを抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、付属のケーブルをご使用ください。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
MacintoshおよびAppleは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
xD-ピクチャーカード™は商標です。
その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

OLYMPUS®

オリンパスイメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を弊社ホームページで提供しております。
オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）

フリーダイヤル

0120-084215

携帯電話・PHSからは0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

※ カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページにて情報提供しております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から
「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 修理に関するお問い合わせ・修理品ご送付先（修理センター）、国内サービスステーション（修理窓口）につきましては、本製品に同梱の「オリンパス代理店リスト」、またはオリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

※ 記載内容は変更されることがあります。最新情報はオリンパスホームページ
http://www.olympus.co.jp/ をご確認ください。

Printed in Japan
1AG6P1P2781--
VH254001